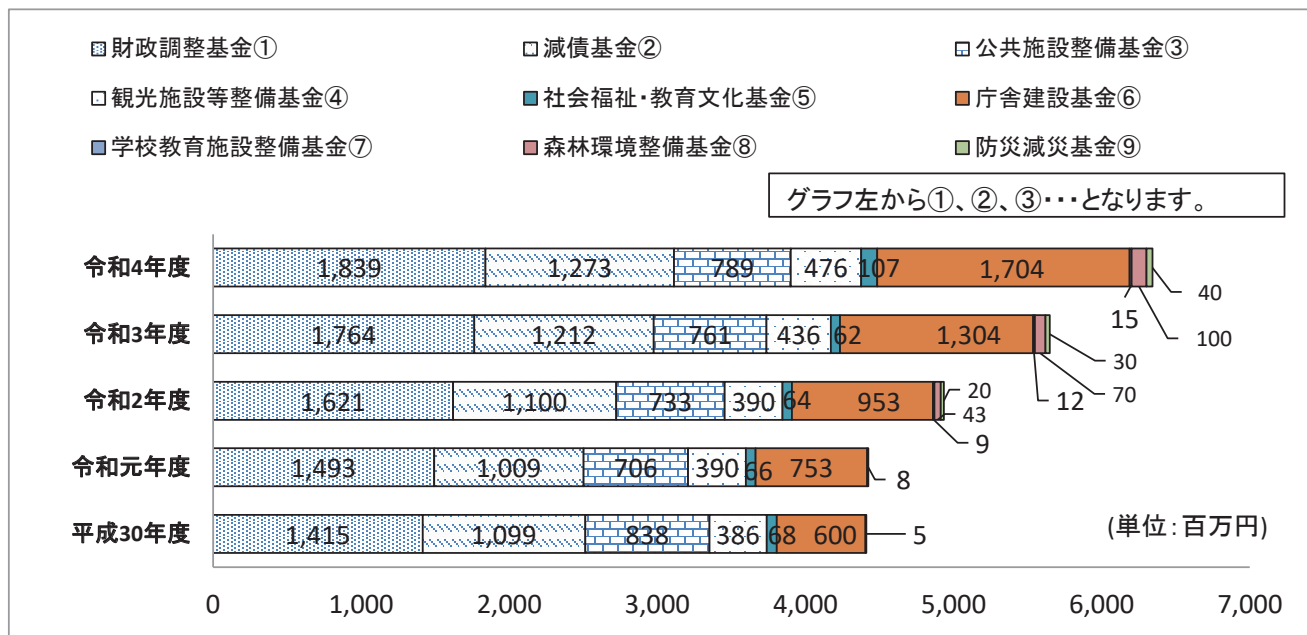


【積立基金の推移】



積立基金（町の貯金）の現在高は、地方交付税の交付増などにより積み増すことができました。しかしながらこれらの積立基金は、奥多摩処理区下水道整備事業に要した起債（借金）の償還（返済）や役場庁舎をはじめとする公共施設等の老朽化対策費用の財源として活用していく状況にあります。町では、自前で確保できる収入（自主財源）に比べ歳出が非常に大きい状況にあり、財源依存している国や東京都の今後の財政状況によっては、厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

【令和4年度特別会計決算総括表】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
都民の森管理運営事業特別会計	8311万5千円	6677万2千円	1634万3千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計	1億6843万3千円	1億6843万3千円	0千円
国民健康保険特別会計	7億3941万5千円	7億1062万9千円	2878万6千円
後期高齢者医療特別会計	2億3243万円	2億2587万8千円	655万2千円
介護保険特別会計	8億6694万円	8億1183万8千円	5510万2千円
下水道事業特別会計	6億4215万5千円	6億4215万4千円	1千円
合計	27億3248万8千円	26億2570万4千円	1億678万4千円

特別会計の決算額（合計）は、前年度に比べて歳入で1.0%、歳出で1.8%の減となっています。主な減要因は、国民健康保険特別会計において保険給付費が減となったことや、下水道事業特別会計において流域下水道維持管理負担金や建設負担金が減となったことなどによるものです。

※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360